

令和8年度 幼保小連携推進事業「授業と保育の相互参観（協議会）」

第1回協議会だより 《南方部》

令和8年6月5日（金）13:15～15:45

【授業と保育の相互参観】 郡山市立御代田小学校

～御代田小学校授業参観について～

1年生から6年生までの全学年の授業を提供していただきました。少人数ならではの授業の工夫が見られました。1年生では6人全員が理解できるような環境の工夫がなされ、最後に「わたがし」（分かった事、楽しかったこと、頑張った事、知りたくなかった事）の確認を行うことで、子どもたちが授業を振り返るとともに理解を深めていました。それぞれの学年で発達段階に応じた授業がなされており、友だち同士で教え合い、全体の中で一人一人が自分の思いを表現するということが大切にしていると感じました。



【協議会内容】

テーマ「幼保小の相互理解と円滑な接続の在り方」について～

① 授業参観より

- ・少人数を生かした授業が行われていました。一人一人の発表の機会がとても多く、興味を引くような教材（ICT等）の提示がされていて、子どもたちがとても楽しそうに授業に取り組んでいました。
- ・縦割りが密になっていて、みんなで1年生を育てていくという意識がとても強く感じました。
- ・先生と子どもたちとのやり取りが印象的で、先生との距離が近く、温かく楽しい雰囲気の中で一人一人を受け止めていることが素晴らしかったです。

② 発達や学びをつなぐスタートカリキュラムの実践～安心して学校生活を送るために

- ・小学校では、文字などは読めるようにはした方がよいという意見がありました。幼保で絵本をたくさん読む機会を作ることが、文字に対して興味や関心を高め、聞く力を延ばしていくことにつながってくると思います。
- ・情報交換や子ども同士の交流などを行っていくことが必要と感じています。また、特別支援学級へ進学のお子さんについては個別の教育支援計画や細かい情報交換がさらに必要と感じました。



《参加者からのアンケート》

- ・初めて全学年の授業を見て学年ごとに違った子どもたちの様子や先生方の配慮の姿が沢山見られとても学びになりました。卒園生の姿も近くで見ることができしっかりと座って集中してとても安心しました。年長の子もたちにひらがなやカタカナ、椅子の座り方を小学生になる前にしっかりとできるようになってから卒園させたいと強く思いました。
- ・保育士の先生より小学校入学前の具体的な指導内容を聞くことができ、大変参考になりました。
- ・幼保と小の先生方の実際の話合いがとても参考になり、このような機会が必要だと感じました。